



かめのり
未来をつくる
リーダーシッププロジェクト
2023

Kamenori Academy for Future Leaders 2023

実施レポート

これからの時代にチャレンジしていく

リーダーシップ研修



『全員発揮型のリーダーシップ』について理解を深め、
必要な『スキルを身につける』ことを目指す

全員発揮型のリーダーシップは、権限や立場に関係なく個々の強みを活かして発揮できるものであり、学習可能。一人ではなく、全員が発揮することで結果につながります。また、研修を通して、集団や社会で活動するために必要な生きる力（＝ライフスキル）を身につけます。

主な実施内容

◎3種類の研修で、全国各地から集まった高校生と大学生が学び合う

テーマ	学習スタイル	目標
オリエンテーション・知り合う活動	オンライン研修 11/1(水) 20:30-22:00	▶研修の目的を理解し、リーダーシップを発揮することや身につけることに意欲をもつ。 ▶知り合う活動を通して、チームとして活動できる土台をつくる。
自己認識	オンデマンド学習 (各自)	▶現在の社会の特徴を理解するとともに、自己認識の重要性に気づく。 ▶自己認識を通して自分らしさが明確になることを理解する。
自己認識と強み	オンライン研修 11/15(水) 20:30-22:00	▶マインドフルネスを通して自己認識を行い、ありたい姿や本当の自分を明らかにする。 ▶ワークを通して、自分の強みを知る。
リーダーシップ	オンデマンド学習 (各自)	▶現在の社会では、全員発揮型のリーダーシップが必要であることを理解する。 ▶リーダーシップを発揮するための必要なスキルについて学ぶ。
リーダーシップ	オンライン研修 11/22(水) 20:30-22:00	▶リーダーシップについての自分の考えを発表し、交流することで、自らのリーダーシップをより明確にする。 ▶学ぶための重要な3つのスキルへ取り組み、スキルのポイントをつかむ。
社会課題	オンデマンド学習 (各自)	▶社会課題の意味を知り、解決する必要性を感じる。 ▶プランを構築するための、手順や方法を学ぶ。
社会課題の解決を通して自分のリーダーシップを育てる	宿泊研修 12/9(土) 11:00- 12/10(日) 15:30	▶チームごとに社会課題の解決についてプランを作成し、プレゼンする。チームの目標達成に向けて、自分らしいリーダーシップのあり方を追求する。

リーダーシップ行動内容の変化

◎リーダーシップ行動内容、全項目で向上!

宿泊研修の開始前と終了後に、参加者は同じ「リーダーシップチェックシート」に回答し、研修によるリーダーシップ行動内容の変化をはかった。結果、マイナスになった項目は一つもなく、すべてプラスを示した。中でも、大きくプラスになった項目は



「他者へ協力を求める」「みんなで理想を描く」「目標・計画を共有する」「進捗を管理する」であった。チームのメンバーとの関わりに関する項目であり、全員発揮型のリーダーシップの育成に効果があったと考える。一方で、低い伸びを示した項目は「お互いに認め合う」であった。特に高校生にとってどのように評価すればいいのか分かりにくかったと推測される。(講師:横田)

カテゴリー	リーダーシップ行動内容
個の確立	自分自身が成長しようとする
	チャレンジする
	立ち直る
	流されない自分を作る
	他者へ協力を求める
	自分を客観的に見る
環境整備・同僚支援	お互いに認め合う
	相互に意見交換する
	前向きな雰囲気を作る
	仲間を助ける
	メンバーの力を引き出す
目標設定・共有	みんなで理想を描く
	目標を立てる
	計画を立てる
	目標・計画を共有する
	進捗を管理する

参加者の声

◎修了者／23名（高校生9名、大学生14名）

自分の課題を達成し、今後の課題を理解する

終了後のアンケートでは、回答者全員が、応募理由に書いた「リーダーシップに関する自分の課題」を達成できた（ほぼ達成できた）と回答。また、研修を通して「リーダーシップに関する今後の自分の課題」を理解できた（ほぼ理解できた）」と回答しました。



お互いの成長をサポートし合える存在

今回の研修がなければ会うことがなかったような方々に出会えた。先生方はもちろん、同じような志を持つ大学生や高校生と出会えたことは生きていく上で大きなモチベーションになりました。これからも連絡を取り合い、お互いの成長をサポートし合えるような存在になりたいと思います。



自分らしいリーダーシップ像はグループによって全く異なる

自分らしいリーダーシップ像を見つけることと参加者全員の動きを観察してどのようにみんな成長していくのかを学ぶことを研修参加前の目標にしていたのですが、自分らしいリーダーシップ像は所属しているグループによって全く異なるということを学びました。私のグループは留学生と高校生と大学生という立場の異なるメンバーが集まっていて、大学で発揮していたようなリーダーシップは正直ほとんど役に立ちませんでした。事前のオンライン研修でも詳しく学んだように環境に柔軟に対応したシェアードリーダーシップは自分をよく分析し、周りをよく見ることによって得ることができ、そのグループのメンバー全員がシェアードリーダーシップを意識していたことによって社会問題に関するより良い解決策を見つけ出すことができました。



学びに来ていても、誰かにとっては学びを与えている

オンライン研修でも宿泊研修でも楽しく、数回しか会ったことのない人とでも打ち解けながら研修に参加することが出来ました。自分自身、知らない人だと人見知りになってしまう面があったのですが、全くその面が出ることはなかったです。それは多分、あの仲間の中に様々なリーダーシップを持った人がいて、人見知りでも意見を汲み取ってくれたり積極的に話を振ってくれたりしたからだと思います。私もその振る舞いを見習って今回、研修前にあげていた自分自身のリーダーシップにおける課題を達成することが出来ました。一つ気づいた点を挙げるとするならば、研修において学びに来ている身だとしても誰かにとっては学びを与える身になっているという点です。実際、私が活動の1つで掲げていた目標である「明るい雰囲気づくり」に関する振る舞いは、グループの仲間から雰囲気づくりをする際の参考になったという声をたくさんもらいました。



研修の様子などの動画



URL: <https://youtu.be/hPRauaLyHsk>



講師より

横田 秀策

- ▶ 国家資格キャリアコンサルタント
- ▶ 産学連携教育イノベーター育成プログラム（リーダーシップ開発育成コース:立教大学）修了



佐渡 涼子

- ▶ ADHD/EFコーチ、親コーチ
- ▶ ニューヨーク大学大学院応用心理学修了（修士）



研修後の実践と今後の課題

▶ 今回、明らかにリーダーシップについてある意識を持って参加したという参加者がいた。全員発揮型のリーダーシップについて普及・啓発する点においては、全員発揮型のリーダーシップを理解し、今後の実践につながることを期待している。また、自分自身の課題意識を明らかにして参加する参加者がいれば普及・啓発にさらに大きな力となると感じた。



一方、全員発揮型のリーダーシップを育てる次のステップへの取り組みは課題である。自分自身のリーダーシップを身につけるとともに他者のリーダーシップを育てる試みが、さらに全員発揮型のリーダーシップを育てることになる。そのためには、チーミングやチームワーキングと呼ばれるチームとして取り組むにはどうすればよいかを学ぶことで、研修後の全員発揮型のリーダーシップの実践へつながると考える。



チーミングやチームワーキングと呼ばれるチームとして取り組むにはどうすればよいかを学ぶことで、研修後の全員発揮型のリーダーシップの実践へつながると考える。

いろいろな人たちとの交流

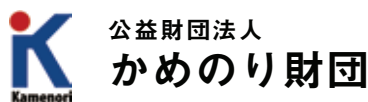
▶ どのグループも真面目に取り組み、プロジェクトを作り上げていた。この研修は「何を作り上げる」よりも「どう作り上げる」という各参加者のリーダーシップ発揮度が大事なので、一人一人が当事者（つまり、リーダー）という自覚を持って課題に取り組んでいた事は、研修会の成功だと感じた。

また、昨年の修了者から2名がメンター（アシスタント）として参加してもらったことが、とても効果的だった。参加者にとって年齢の近いメンターが、自分の経験を話したり参加者の相談に乗ったりして、参加者と関係を築くことにより、活動がよりスムーズに動いたように思われる。

今回は青少年育成支援フォーラム理事長、かめのり財団理事が見学され、参加者とも交流をしていた。このように実際に国際的に働いてきた方との交流は、参加者にとって非常に意味のあることであった。今後もこうした交流を継続していきたい。



〈主催〉



公益財団法人
かめのり財団

〒102-0083
東京都千代田区麹町5-5 ベルヴェー-麹町1F
HP: <https://www.kamenori.jp/>

〈実施団体・連絡先〉



特定非営利活動法人
青少年育成支援フォーラム
Japan Initiative for Youth Development

〒150-0043
東京都渋谷区道玄坂1-21-1 SHIBUYA SOLASTA 3F
TEL: 050-1742-4922 E-mail: info@jiyd.org